

「共謀罪」法案反対の一点で15の市民団体が共同して、5月31日夜に東京・日比谷野音で開いた市民集会。「力を合わせて必ず廃案に」とスピーチした特別ゲストと各団体の代表6氏の発言（要旨）を紹介します。

6/2 投稿

「共謀罪」反対 15団体集会から

人としての尊厳を守るたたかいに

小中学生の時、学校の先生や親から「これからはそんな時代じゃない」といわれて育ってきました。共謀罪のような法律ができたら多難に陥向けてできません。絶対に通したくありません。

共謀罪は、人の心に土足で踏み込んでくる法律です。これに反対することは、人としての尊厳、人間を守るたたかいだと思います。がんばりましょう。

●番山リカさん（特別ゲスト）
（精神科医）

ひとりりの市民、精神科医としてここに来ました。私の奥家は北海道の小樽市にあります。地元の偉人は作家の小林多喜二です。当時の治安維持法で逮捕され、命を落としました。



私たちの権利は私たちがまもる

アムネスティは国際人権NGOとして、人権侵害に反対の声をあげて50年になります。人権保護のために働くというところは、人の尊厳を守るという事です。共謀罪に反対することも、人の尊厳を守ることにつながります。私たちの権利は私たちが守らないといけません。廃案まで声をあげ続けましょう。

●山口麻さん（アムネスティ・インターナショナル日本）

「共謀罪」法案の審議で、金田勝年法務相は人権団体でも重大な犯罪を裏行する団体と認められる場合、処罰する可能性があると言及しました。そうした団体の構成員は一般の方がたとはいえないのではないかという懸念もありません。



国民不断の努力 憲法かみしめて

日本政府は、「共謀罪」法案についての審議に対して誠意をもって対応すべきです。この法案によってもし市民社会が萎縮するならば、民主主義のプロセスが破壊されるという事です。今こそ憲法に誓われている「国民の不断の努力」をかみしめて、廃案までたたかいていきたいと思います。

●旗手（はたて）明さん（自由人権協会 由人権協会理事）

自由人権協会は、基本的人権の擁護を唯一の目的とする公益社団法人で、1947年につくられました。設立70年記念のシンポジウムで国連の特別報告者、ジョセフ・ケナタッチさんをお呼びしました。それがきっかけで日本の調査を始めたそうです。



民主主義社会に逆行する法案だ

私は2012年から3年間、エジプトで特派員をしていました。独裁国家は見かけの治安はいいんです。体制批判をする人を特状もなく取り締まられるからです。日本をそんな社会にしたいですか。

私たちが目指すのは、誰もが自由にものがいえる成熟した民主主義社会です。共謀罪はこれに逆行するものです。新聞労連はこれからも共謀罪に反対していきます。

●小林美穂さん（新聞労連委 委員長）

新聞労連は、全国の新聞労働者の8割を組織しています。共謀罪は犯罪者を取り締まるのではなく、当局が取り締まりたい人を取り締まるものだと思います。



表現の自由奪い秘密社会つくる

私たちのメールもすべて、特定秘密として活用される社会が来る。こんな秘密社会を許してはいけません。共謀罪の先に特捜、監視社会、秘密社会を断つたかっと思っています。

●山田健太さん（日本ペンクラブ）

共謀罪に反対するのは、表現の自由を奪うからです。好きな時に好きなことをいえるのが表現の自由です。共謀罪は、好きな時に好きなことをいえるのが表現の自由です。共謀罪は、好きな時に好きなことをいえるのが表現の自由です。



政権異常暴走になれてはダメだ

民主主義と対極にある政治が行きつく先は、戦争への道であったことを改めて再確認しましょう。行動の規模を増して野党を後押しし、会期末までに「共謀罪」法案を廃案に追い込むための力を合わせましょう。

●小田川義和さん（総がかり行動実行委員会共同代表）

あまりにも目覚めている縮力の暴走や國政の私物化など、安倍政権の異常さにならされてはいけません。金田勝年法務相は、共謀罪の対象範囲に環境や人権団体も入ると言及しました。審議すればするほどそうごまかしの明らかになっていきます。立憲野党の奮闘と、法案の真実を国民に明らかにしなければいけません。



事実と道理から共感を広げたい

共謀罪の適応を判断するのは警察です。彼らはすでに日常的に市民を監視しています。危険性をもっと広げていこう。私たちが与野党間にも危険性を訴えてきました。今からでも遅くはないので今からでも反対していただきたい。

法律家は事実と道理、憲法に基づいてみなさんの共感を導くのが本分だと思っています。廃案のため全力をつくします。

●加藤健次さん（共謀罪法案に反対する法律家団体連絡会）

共謀罪は、話し合っただけで内心を処罰されるという点にすぎません。言論、表現の自由に対する、憲法違反の法律を許してはいけません。

